

令和3年（2021年）12月

令和3年度（2021年度）全国学力・学習状況調査
（令和3年5月27日実施）

宝塚市の結果概要

自分を大切に 人を大切に
ふるさと宝塚を大切に作る人づくり

宝塚市教育委員会

もくじ

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 宝塚市の状況	1
4. 質問紙調査結果より	2
5. アクティブラーニングの実施率及び平均正答率との相関	5
6. 教科に関する調査結果より	
小学校国語	6
小学校算数	7
中学校国語	8
中学校数学	9
7. 宝塚市の児童生徒の学習と生活の充実のために	10

1. 調査の目的

この調査は、文部科学省が次の3点を目的として実施しています。

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

全国学力・学習状況調査はすべての学力を測るものではありませんが、調査で得た結果を、教育行政及び学校現場が、今までの取組の成果と課題を把握するとともに、今後の取組に活かしていくこととしています。

2. 調査の概要

- (1) 宝塚市の調査実施校数等 小学校6年生：24校 1,977人 中学校3年生：12校 1,733人
- (2) 調査内容
 - ア 教科に関する調査 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学
 - イ 質問紙調査 児童生徒用、学校用 2種類

3. 宝塚市の状況

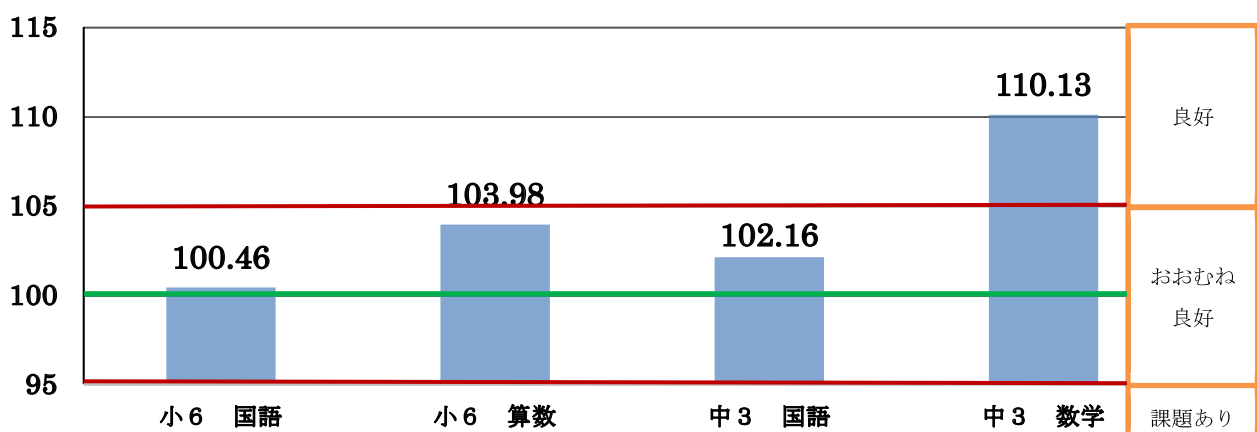
(1) 教科に関する調査結果

学年	教科	平均正答率 (%)		
		宝塚市	兵庫県	全国
小学校 6年生	国語	65.0	64.0	64.7
	算数	73.0	71.0	70.2
中学校 3年生	国語	66.0	64.0	64.6
	数学	63.0	58.0	57.2

(2) 全国平均と比較した宝塚市全体の傾向

※全国平均を100として比較し【95以下：課題あり 95～105：おおむね良好 105以上：良好】としたもの。

学年	教科	結果	学年	教科	結果
小6	国語	おおむね良好	中3	国語	おおむね良好
	算数	おおむね良好		数学	良好



4. 質問紙調査結果より

児童・生徒質問紙調査は、調査する学年の児童生徒を対象とした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。小・中学校ともに全69問の質問項目中から、「学習に対する関心等」、「規範意識・自己有用感等」、「生活習慣・学習習慣」、「各教科の調査時間の適切性」、「新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間中について」、「ICTを用いた学習時間等」の領域に係る項目を抽出しました。

下表の数値は、それぞれ調査項目ごとの宝塚市と全国の回答結果の中から、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

【国語への関心等】



学年が上がるにつれ、理解するためには計画的な学習が必要である。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
国語の勉強は好きですか	57.7	58.4	61.6	60.8
国語の勉強は大切だと思いますか	93.8	93.2	89.9	91.6
国語の授業の内容はよく分かりますか	87.2	84.2	79.1	80.1
国語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役立つと思いますか	91.4	91.8	87.5	88.7

【算数・数学への関心等】



算数・数学の社会での必要性を実感させることが求められる。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
算数・数学の勉強は好きですか	67.3	67.8	57.9	59.1
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	93.5	93.8	84.4	84.1
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	87.0	84.6	76.4	74.6
算数・数学の授業で学習したことは将来社会に出たときに役立つと思いますか	91.8	92.6	74.1	74.6

【英語への関心等】



全国と比べ、本市では英語が好きな児童生徒の割合が高い。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
英語の勉強は好きですか	70.0	68.3	61.6	56.7
前年度までに受けた授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	71.0	74.6	62.5	67.7
これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか	48.8	44.4	38.0	34.8

【規範意識・自己有用感等】



学校は楽しいと実感している児童生徒の割合は比較的多いが、地域や社会ともかかわることで夢や目標を持たせることが必要である。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
人が困っているときは、進んで助けていますか	86.6	88.7	87.1	88.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.1	96.8	95.8	95.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.6	95.5	94.4	95.0
自分には、よいところがあると思いますか	76.6	76.9	74.4	76.2
将来の夢や目標を持っていますか	76.8	80.3	64.2	68.6
学校に行くのは楽しいと思いますか	88.3	83.4	82.1	81.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	45.0	58.1	30.7	43.7
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.0	52.4	36.2	43.8

【生活習慣・学習習慣】



就寝・起床時間が一定でないことは、P. 4のゲーム時間とも関連があると考えられる。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
朝食を毎日食べていますか	94.3	94.9	92.7	92.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.5	81.2	73.1	79.8
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.8	90.4	90.2	92.7
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	72.3	74.0	60.3	63.5

【各教科の調査時間の適切性】



時間配分がうまくできていないことが無解答率の高さにもつながっていると考えられ、指導上の課題である。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
解答時間は十分でしたか（国語）	55.0	70.3	73.1	75.3
解答時間は十分でしたか（算数・数学）	81.0	81.7	80.1	80.5

【新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間中について】



休校の際も学校とのつながりを確保することで生活習慣の安定につなげていくことが必要である。

質問項目	小学6年生		中学3年生	
	宝塚市	全国	宝塚市	全国
勉強について不安を感じましたか	48.0	55.2	57.7	62.8
計画的に学習を続けることができましたか	60.1	64.6	30.0	37.6
規則正しい生活を送っていましたか	59.6	63.1	43.4	48.4

【ICTを用いた学習時間等】

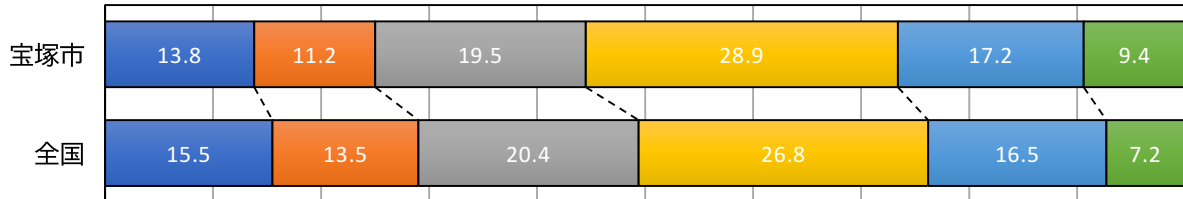


中学生では、4時間以上ゲームをしている割合が特に多くなっている。睡眠時間等、規則正しい生活への影響が心配される。

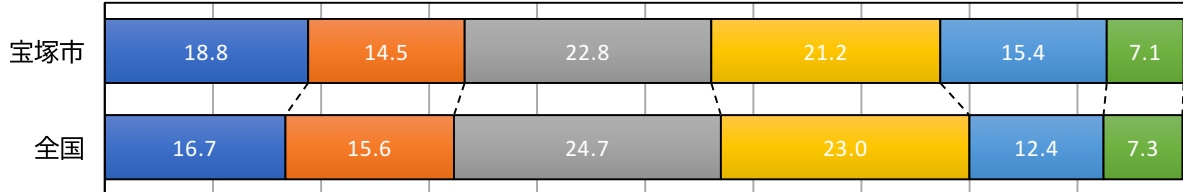
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか

- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 1時間より少ない
- 6. 全くしない

小学6年生



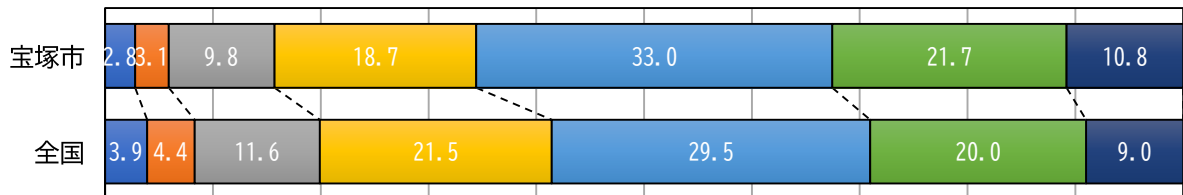
中学3年生



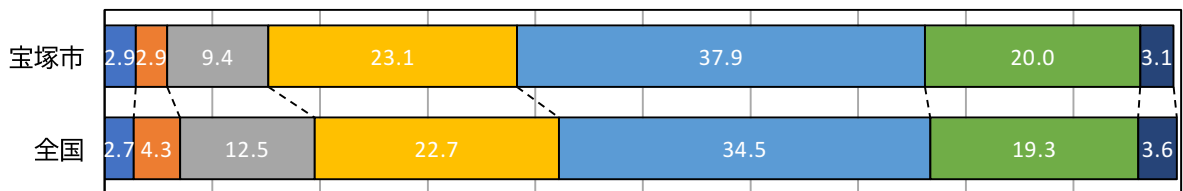
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか

- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上、3時間より少ない
- 3. 1時間以上、2時間より少ない
- 4. 30分以上、1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全く使っていない
- 7. ICT機器を持っていない

小学6年生



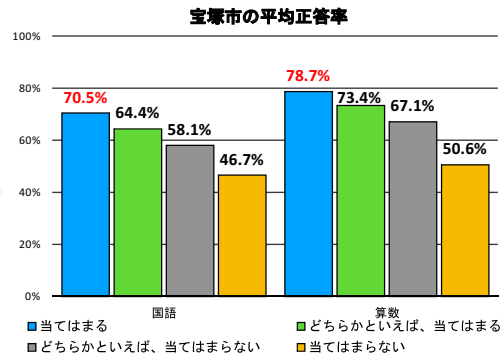
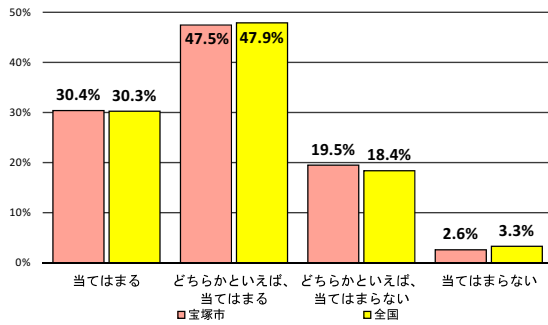
中学3年生



5. アクティブラーニングの実施率及び平均正答率との相関

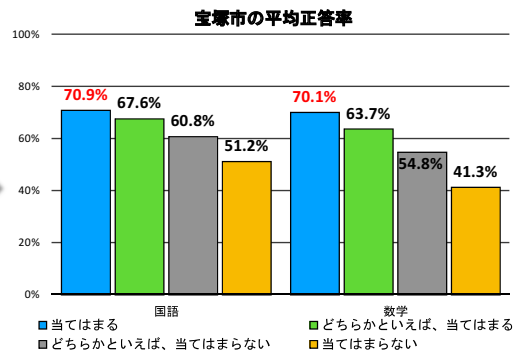
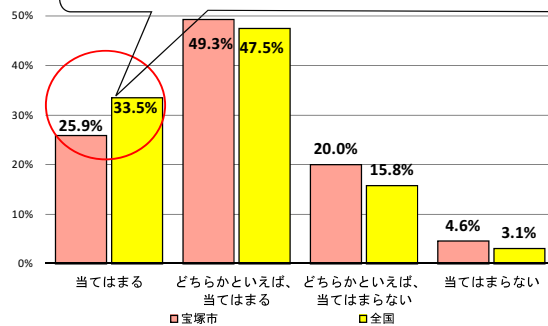
①今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいったと思いますか《主体的な学び》

【小学校】



【中学校】

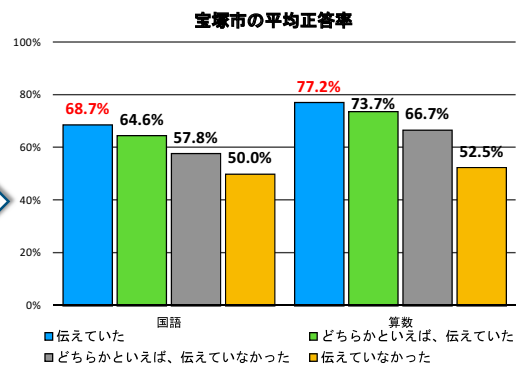
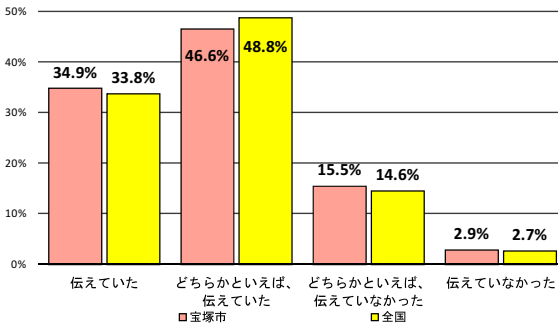
中学校では「当てはまる」の回答が全国より8ポイントほど低い。「主体的な学び」に向けた授業改善が必要。



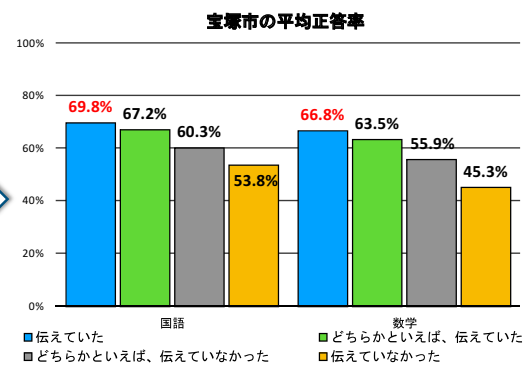
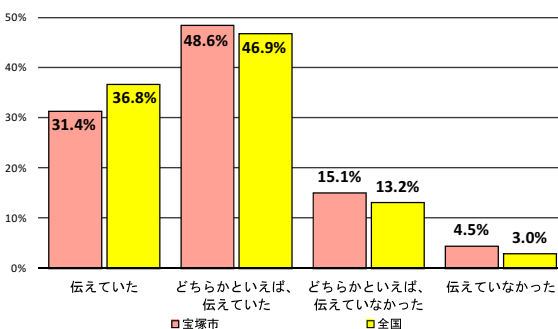
「当てはまる」と回答した児童生徒の平均正答率が高い。

②今までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、その考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて、自分の考えをしっかりと伝えていましたか《対話的な学び》

【小学校】



【中学校】



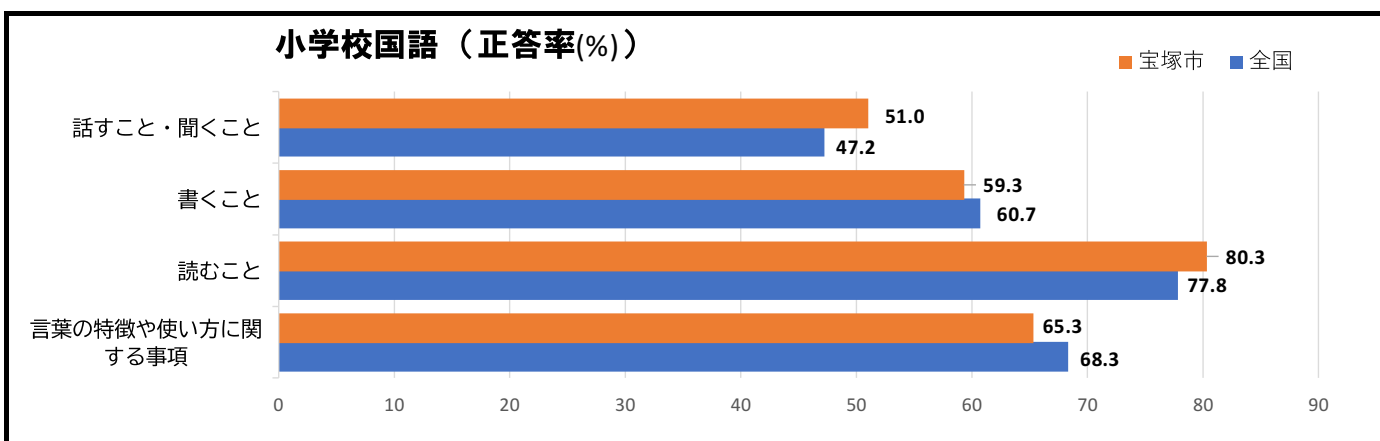
「伝えていた」と回答した児童生徒の平均正答率が高い。



相手の考えを聞き、自分の考えをしっかりと伝えるといった力を育む授業改善が求められる。

6. 教科に関する調査結果より

(教科に関する調査結果について学習指導要領の領域別に正答率(%)を表しました。)



【宝塚市の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」と「読むこと」については、全国・兵庫県の平均値を上回っている。
- ・「書くこと」と「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国・兵庫県の平均値をやや下回っている。
- ・無解答率は全国と比べて高くなっている。

【よくできていること】

- ① 「読むこと」のうち、文章から必要な情報を得たり、要約したりすること。
- ② 「話すこと・聞くこと」のうち、スピーチの構成を内容が明確になるように考えたり、資料を活用したりすること。

【課題と学びのポイント】

- ① 漢字を文の中で正しく使うこと。

学びのポイント

漢字の意味を考えながら文や文章の中で使おうとする習慣を身につける。

- ➔ 国語辞典、漢字辞典を活用する。
- ➔ タブレットのドリルパーク等で反復練習をする。
- ➔ インターネットで手書き文字入力検索などを活用する。

- ② 主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係をわかりやすくして書くこと。

学びのポイント

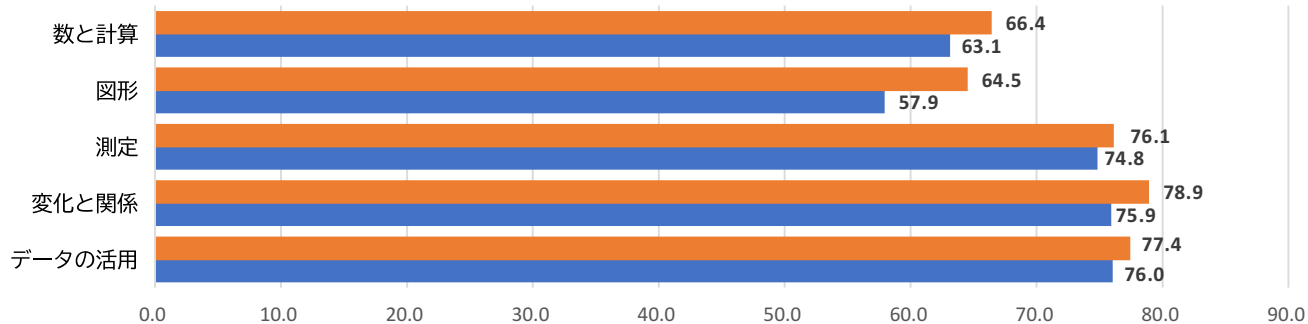
読み手の立場に立って、自分の書いた文章を推敲する(言葉の使い方などを確かめる)習慣を身につける。

- ➔ 「平成30年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【小学校】授業アイデア例① (https://www.nier.go.jp/jugyourei/h30/data/18idea-plang_01.pdf) 「春休みの出来事について書いた文章を読みなおそう」を参考にする。
- ➔ 短い文章でかまわないので、自分の考えや思いをまとめる習慣を身につける。国語の授業だけでなく、いろいろな場面でも「書くこと」の機会を増やす。



小学校算数（正答率(%)）

■宝塚市 ■全国



【宝塚市の傾向】

- ・全領域において全国・兵庫県の平均値を上回っている。
- ・無解答率は全国と比べて低くなっている。

【よくできていること】

- ① グラフから、データの数値を読み取ったり、最大値や最小値、差、割合などの項目間の全体的な特徴を読み取ること。
- ② ある事柄の開始時刻と終了時刻、所要時間の関係を理解し、条件に合う時刻や時間を求めること。

【課題と学びのポイント】

- ① グラフで表された複数のデータを比較し、様々な視点による特徴に気づき、数学的な表現を用いて説明すること。

学びのポイント

グラフで表された複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取り、数学的な表現を用いて説明できるようにする。

- ➔ 「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【小学校】授業アイデア例② (https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21idea-pmath_02.pdf) 「統計的な問題解決の方法で考えよう」を参考にする。
- ➔ 運動会の種目決めや、地域で出されているゴミ調べなど問題だと感じることや改善をしたことなどに対して、目的に応じてデータを収集し、分析してみる。



- ② 小数を用いた倍についての説明を理解し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が小数で表されることを理解すること。

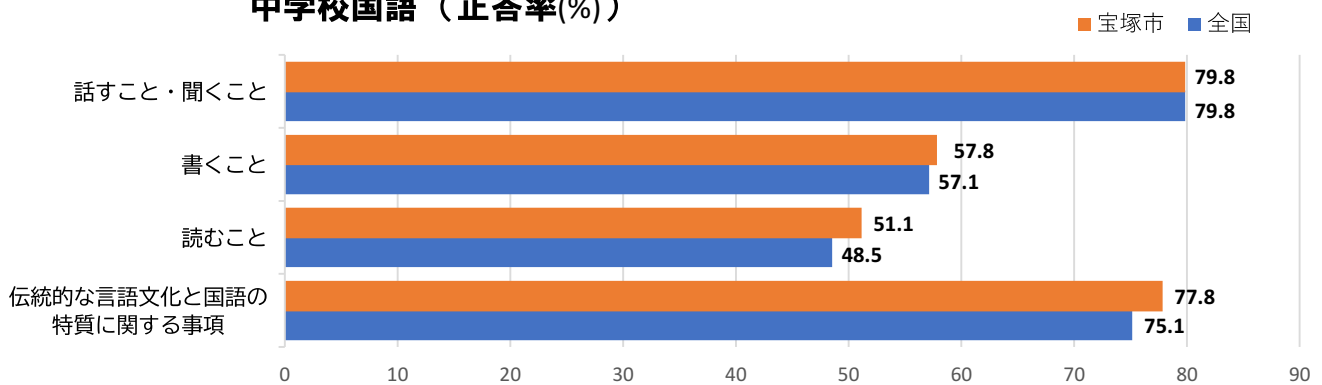
学びのポイント

整数の倍の意味についても捉え直し、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを理解できるようにする。

- ➔ 「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【小学校】授業アイデア例③ (https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21idea-pmath_03.pdf) 「小数を用いた倍の数を理解しよう」を参考にする。
- ➔ 図を用いて計算結果の意味を考える活動を、第5学年及び第6学年の小数や分数の乗法・除法で設定する。



中学校国語（正答率(%)）



【宝塚市の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均と同水準。それ以外の領域はいずれも全国・兵庫県の平均値を上回っている。
- ・無解答率は全国と比べて高くなっている。

【よくできていること】

- ① 「読むこと」のうち、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること。
- ② 「国語の特質に関する事項」のうち、事象や行為などを表す多様な語句について、理解すること。

【課題と学びのポイント】

- ① 語句や文の使い方や段落相互の関係に注意して推敲すること。

学びのポイント

自分が書いた文章表現が、読み手に考えを伝えたり、印象を与えるうえで、どのように働いているかを確認めながら書いてみる。

- ➔ 「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【中学校】授業アイデア例② (https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21idea-mlang_02.pdf) 「読み手の立場に立って、文章を整えよう」を参考にする。
- ➔ 書いた文章をもとに、プレゼンテーションなどの形で発表し、感想や評価をもらうことで、伝えることの楽しさを味わう。



- ② 「読むこと」に関して、文章で述べられているものの見方や考え方をとらえ、自分なりの考えを持つこと。

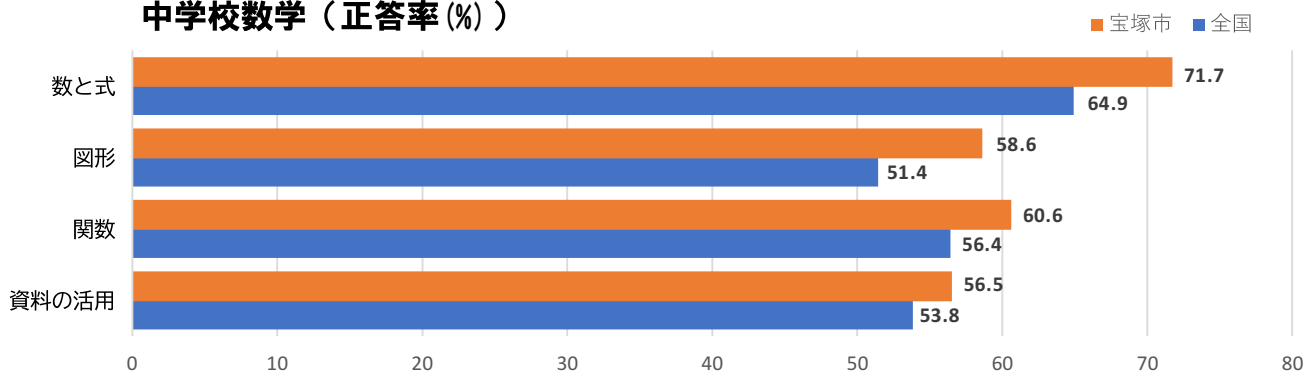
学びのポイント

他者の考えやその根拠などを理解する中で、自分が文章をどのようにとらえて解釈したのかをさらに他者に説明したりする機会を持つ。

- ➔ 「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【中学校】授業アイデア例③ (https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21idea-mlang_03.pdf) 「叙述を根拠に自分の考えを持つ」を参考にする。
- ➔ 自分の考えについて、文章中の言葉を根拠にしながらかき、プレゼンテーションやゲーム形式の中で実践的に取り組む。



中学校数学（正答率（%））



【宝塚市の傾向】

- ・全領域において全国・兵庫県の平均値を上回っている。
- ・無解答率は全国と比べて低くなっている。

【よくできていること】

- ① 全領域において、基礎・基本の知識を理解すること。
- ② 表やグラフから正しく情報を読み取ること。

【課題と学びのポイント】

- ① 事象から関数の関係を見出すなど数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

学びのポイント

事象を式・表・グラフなど数学的な表現を用いて表すことで、関数などの関係を見だし、問題解決の方法を説明できるようにする。

- ➔ 「令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【中学校】授業アイデア例① (https://www.nier.go.jp/jugyourei/r03/data/21idea-mmath_01.pdf) 「四角で囲んだ4つの数の和の性質を見付けよう」を参考にする。
- ➔ 一旦解決された問題を振り返り、さらにわかることはないかに考え、得られた数学的な結果について、事象に即して解釈する。



- ② データの傾向を的確に捉え、判断の理由を代表値など数学的な表現を用いて説明すること。

学びのポイント

データを目的に応じて整理することや傾向を捉え、代表値などの数学的用語を用いて、説明できるようにする。

- ➔ 「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた【中学校】授業アイデア例③ (https://www.nier.go.jp/jugyourei/h29/data/21idea-mmath_03.pdf) 「全校生徒の体力向上のために、1日あたりの運動時間の目安を提案しよう」を参考にする。
- ➔ 資料を目的に応じて表やグラフなど分かりやすく整理したり、代表値などを求めたりしてその資料の傾向を的確に捉える。



7. 宝塚市の児童生徒の学習と生活の充実のために

自分を大切に 人を大切に ふるさと宝塚を大切に作る人づくり

本市では、教育の基本目標である「自分を大切に 人を大切に ふるさと宝塚を大切に作る人づくり」を達成するため「第2次宝塚市教育振興基本計画」を令和3年度（2021年度）に策定し、特に重要と考える8つの施策を「重点施策」として設定しています。

- 重点施策1 幼児期の教育・保育の質を高めます
- 重点施策2 子ども一人ひとりに寄り添った支援を行います
- 重点施策3 「魅力ある授業」「わかる授業」を展開します
- 重点施策4 子どもの健やかなからだづくりを応援します
- 重点施策5 子どもたち・教職員の人権意識を高めます
- 重点施策6 ICT環境を活用した教育を展開します
- 重点施策7 読書活動を推進します
- 重点施策8 学校・家庭・地域の連携を強めます



それぞれの詳しい内容は、「第2次宝塚市教育振興基本計画」
(<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoikuiinkai/1009232/1029300/1030716/1043076.html>)に記載しています。

以上のような取組を通じて、本市の児童生徒の学習と生活を充実させていきます。そのためにも、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが不可欠です。

この結果概要は、令和3年度全国学力・学習状況調査における本市の児童生徒の結果を分析し、多くの方々にご覧いただくことで、今後の本市のよりよい教育のために活かしていくことを目的として作成しました。

今後とも本市の教育にご理解とご協力をお願いします。

(参考) 全国学力・学習状況調査の問題や質問の内容は下記 URL にてご覧いただけます。
国立教育政策研究所 HP 教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」
(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

